

福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

RI 2015-16 のテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-16 RI 会長
K.R. ラビンドラン

本日の
プログラム

新会員スピーチ

株式会社クリーンテック 代表取締役

反後 太郎 会員

会長あいさつ

第 10 回会長挨拶

幡 研一 会長



去る 9 月 3 日理事会が開催されました。その中で決定された重要なことをご紹介します。まず初めに加藤義朋 SAA の発案で、例会の開会にあたり、隣の人と「好意と友情の握手」をするということです。ロータリーソングの終了後、着席前に幹事の呼びかけで行って頂きます。本日が第 1 回目となりましたが、続けて行くうちに自然と慣れることと思います。

次に、只今委嘱した新会員カウンセラーにつきましては、新会員の所属する委員会の中から選ばせて頂きました。

また理事会と同日に新会員研修会が阿久津 肇 パストガバナーを講師として開催されました。新会員 10 名、クラブ研修リーダーの渡辺健寿会員、ロータリー情報委員会の委員 6 名、それに会長・幹事の総勢 19 名が参加し、有意義な研修会でした。その後理事会メンバーと一緒に「新会員歓迎合同懇親会」が行われ新会員との交流を深めることができました。講師を務めて頂いた阿久津パストガバナー有難うございました。また、ロータリー情報委員会の皆様大変お世話様でした。

本日のプログラムは、反後太郎会員の新会員スピーチです。それではごゆっくりお食事をどうぞ。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

●米山奨学生

ヴクアン ジュー フン さん

9 月奨学金の支給



●ビジター

阿部 尚俊 様

(福島南 RC)



例会次第

開会点鐘 幡 研一 会長

ロータリーソング「我等の生業」

ソングリーダー 小林仁一 会員

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

●血圧測定

児玉胃腸科内科医院 看護師 市場美奈 様

会長あいさつ 幡 研一 会長

新会員カウンセラー委嘱状の交付

食事

幹事報告 箱岩 偉 幹事

各委員会報告

●広報マルチメディア雑誌小委員会

「友」9 月号紹介 河田 亨 委員

●プログラム・ニコニコ BOX 小委員会

10 月プログラムご案内/ニコニコ BOX

佐藤武彦 委員

◎本日のプログラム

開会点鐘 幡 研一 会長



例会プログラムのご案内

9 月 24 日 (木) 理事会承認休会

10 月 1 日 (木) 12:30 ~ 辰巳屋

- 鈴木和夫ガバナー補佐クラブ訪問
- 福島大学 子どものメンタルヘルス支援事業推進室 室長、総務担当副学長 功刀(くぬぎ)俊洋 様 特任助教 中村志寿佳(しずか) 様

* 誕生祝い * 「四つのテスト」唱和

* 10 月理事会 18:00 (石林)

10 月 8 日 (木) 18:30 ~ 石林

- お月見夜間例会
- * 「陳建一様を囲む 福島 RC ゴルフコンペ」パーシモン CC

10 月 15 日 (木) 12:30 ~ 辰巳屋

- 「米山月間にちなんで」スピーチ ジューフンさん
- カウンセラー 金子與志人米山委員長スピーチ
- * 「友」紹介(本保 晃会員) * 血圧測定 * プログラム紹介

10 月 22 日 (木) 12:30 ~ 辰巳屋

- 新会員スピーチ 日本銀行 中尾根康宏 会員
- 幡 研一 会長スピーチ

10 月 29 日 (木) 12:30 ~ 辰巳屋

- 新会員スピーチ 損保ジャパン日本興亜 佐藤康太郎 会員
- パンダハウス理事長他

本日のプログラム

新会員スピーチ

株式会社クリーンテック 代表取締役 反後 太郎 会員



只今ご紹介頂きましたクリーンテックの反後です。本日は、このような場を頂き、誠にありがとうございます。

さて私の苗字の「反後」ですが、大変珍しい苗字です。「仁丹」の「丹」、直前会長の「丹治さん」の「丹」を書く「丹

後さん」はたまにお見かけしますが、「反対の反」に「前後の後、うしろ」とかく「反後」は私の親戚のみしかおりません。両親の出身は熊本市内ですが熊本でも私の親戚しかいない苗字でございます。もし今後、私と同じ苗字の方にお会いしましたら、その方のルーツは熊本に間違いありませんので、ぜひお聞きになって下さい。

次に名前の「太郎」ですが、苗字が珍しいので母方の祖父が「名前はわかりやすいほうが良い。」ということで「太郎」がいい、と言い出しました。ただ当時は「太郎」というのは犬の名前の定番だったそうで、子供の名前としては全くはやりではなかったらしいです。色々異論もあったようですが、「太郎」に落ち着きました。今では憶えやすい名前でも感謝しています。

私は現在、妻と子供3人がおり、妻は高校時代の1つ下、長女は今は東京の大学へ行き就職活動中。長男は福島高校2年生、次男は森合小学校の5年生です。

福島へ家族で転居してきたのが、娘が小学校4年生にあがる前の春休み、長男はまだ幼稚園でした。次男はまだ影も形もありませんでしたが、福島の水があったのかこちらで3人目を授かることができました。妻は東京生まれの東京育ちでしたが福島がすっかり気に入り、私達夫婦にとって福島は第2の故郷になりました。もちろん子供たちにとっては福島が正真正銘の故郷です。

私の生まれは両親の実家である熊本市です。といっても父は既に東京で仕事をしており、いわゆる母の「里帰り出産」で、生まれて数か月後に東京へ戻ってまいりました。

生まれ年は昭和39年、東京オリンピック開催、新幹線開通の年で、まさに高度経済成長の真っただ中にこの世に生を受けました。

小学校・中学校・高校は東京都内の公立学校へ通いました。小学校時代は野球に明け暮れていましたが、視力が悪くなり中学からはボールが大きいという理由と、背が低かったので背が伸びるのではないかという理由でバレーボールを始めました。

高校3年の時にAFSという財団法人を通じて交換留学生として1年間アメリカで過ごす機会を得ました。若い頃に貴重な経験をさせてもらい、その後の人生にとってもプラスになったと思います。帰国後、慶応大学法学部へ入学し、大学時代は勉学以外、主として高校時代に留学させてもらった財団法人AFSの日本協会

で、学生ボランティアとして活動しておりました。世界各国から日本へ来る高校生留学生の受け入れや日本の高校生の派遣の仕事、日本の高校生と日本に来た留学生の交流の場の企画運営をしたりしていました。

学生ボランティアといっても、各大学から学生が集まって仕事をする「サークル活動」のようなもので大変楽しかったです。しかも大学のサークルと違って、様々な大学の友人ができたことは大変良かったと思っています。この時の先輩や後輩、同期とは今でも交流を続けています。

大学卒業後、昭和63年4月に野村證券へ入社し名古屋支店営業部へ配属となりました。バブル絶頂の頃でしたが、名古屋では本当に鍛えられました。

新入社員は顧客ゼロからのスタートで、毎日、電話営業と飛び込み営業をやっていました。相手は非上場の中小企業のオーナー社長さんや開業医の先生方になります。まさにこの福島ロータリーにおられるような方々が、標的・ターゲットになります。

卒業したての新入社員が突然やってきて「社長様いらっしゃいますか？」とか「院長先生いらっしゃいますか？」とやりますので、来られた会社も病院もたまったものではないでしょうし、最初の頃は1日100件まわって2～3人の社長さんと名刺交換できればいいほうでした。社長さんがいなければ経理部長さんや総務部長さんとかの名刺を、院長先生に会えなければ事務の方の名刺を、とにかく集める。これが最初の仕事です。

また毎朝、帝国データバンクの資料で自宅へ電話し、「朝早くから申し訳ありません。野村證券の反後と申しますが。」とやります。たいていは奥様が出られて「結構です。」とすぐに電話を切られるのですが、たまたま社長本人とおぼしき人が電話に出て「株は他の会社でやっているからいいよ。」と断られる場合があります。しかし「株をやっている。」と聞けばチャンスがありますので、その日、その会社へ出向きます。もちろんアポはとれませんので飛び込みです。会社へいらっしゃればラッキー、まあ居ても会えない場合が多いですが、不在でも名刺と簡単なメッセージを残しておきます。

そしてその晩には巻紙と筆ペンで手紙を書きます。巻紙で書いて和紙の封筒で送った手紙は、分厚くなっていますので一応読んでくれる確率が高いです。また案外、すぐには捨てられないもののようで、それなりに効果はあったと思います。とにかく何とかして「名前を憶えてもらい、会ってもらおう。」のが第一歩でした。

そんな感じで半年も経つと自分の顧客ができてきて、やっと取引所が開いている時間帯は電話でお客さんとやりとりして約定・注文ができるようになりました。取引所が開くと、全員、電話でお客さんとやりとりし注文をとっていくのですが、ホワイトボードに個人名が書かれており、リアルタイムで稼いだ手数料を自分で書き込んでいきます。そこは新入社員も先輩も課長は同列です。今日は誰が手数料を稼いで誰が稼いでないか一目

瞭然です。そのプレッシャーは半端ではなかったです。しかし、この営業経験はその後の人生に本当にプラスになったと後から実感していきます。とにかくプレッシャーに負けない精神力はついたと思います。

その後、本社の国際金融部という「外国債券の引受」という業務をやる部署へ異動になります。簡単というとお金の借り手である外国の政府や政府機関や法人などを引っ張ってきて債券を発行してもらい、手数料を頂く、というのが国際金融部の仕事です。厳しい先輩や上司もいましたが、本社はまさに別世界・別会社のように、お給料を頂いて日々新しい知識を得ながら仕事ができるなんて天国でしたし、個人への数字のプレッシャーから解放されて大変充実した日々を送ることができました。国際金融部の後、債券部のシンジケートという部署へ異動します。国際金融部が債券の仕入、債券部は販売ですが、それら仕入と販売をつなぐ仕事になります。

野村証券での最後の6年間は、このようにずっと債券とかかわってきましたが、父が産業廃棄物の仕事を手掛け始め、福島での事業が何とか先が見えてきたというタイミングで退職し、父の会社へ入社しました。

父は大学卒業後、熊本放送の東京支社に勤めておりましたが脱サラ後に、そのまま東京でレントゲン等々の病院向けの医療機器専門リースの会社を立ち上げました。その後も、ずっと病院相手の仕事を中心にやってきておりましたが、私が就職して間もない平成元年頃、父は廃棄物処理の世界に足を踏み入れました。当時は、医療廃棄物の不法投棄が社会問題になりかけていた頃で、かつ法律も病院からの感染性廃棄物については厳しい管理基準を設ける動きが出てきた頃で、父がお得意様である病院から、医療廃棄物の処理の相談を受けたのが、この業界へ足を踏み入れるきっかけとなりました。

当時の父は、廃棄物業界のことは全く素人でありましたが、色々と調べるうちに、こうした医療廃棄物は基本、焼却処理をしなければならない。その燃やした後の焼却灰は「管理型最終処分場」という埋立て場所がシートで遮水してあり、廃水処理設備が整った処分場へ埋め立てなければなりません。当時から、そうした最終処分場は大変不足しており、「まずは世の中で一番必要とされている“最終処分場”から手掛けよう。」ということになりました。そこで色々と適地がないかと場所を探していたところ、現在の飯坂の場所を紹介され、様々な条件が整っているということで、その地を選び、平成3年1月にクリーンテックを設立しました。

「世の中に必要な施設」といっても「総論賛成。各論反対。」、火葬場と一緒に“迷惑施設”であることに変わりはありません。まして、これまで全く縁がなかった福島の地で産業廃棄物の最終処分場を作ろうというのは並大抵ではありません。地元の反対もありましたが、地道に地域住民の方々と県行政と協議を重ねてお

りました。とにかく支援してくれていた方々も大勢いましたので、後戻りはできないと頑張った甲斐もあり、ようやく平成9年3月に第1期の建設許可がおりました。会社設立から6年余り。この事業をやろうと動き出してから9年近くが経過しておりました。

私が野村証券を退職し、父と環境事業をやりたいと合流したのはこの頃です。私は一人息子ですが、父は一度も「この事業を継いでほしい。」とは言いませんでした。ただ、会うたびに、この業界はまだまだ改革や改善すべきことがたくさんあること、すなわちビジネスチャンスも無限にある、ということをよく聞かされておりました。「そんな話を聞いているうちに私もこの「環境事業」の世界へ飛び込んでみたいと思い、父へクリーンテックの入社をお願いしました。

3年半近くかかった建設工事もようやく終わり、平成13年1月にやっと第1期処分場の操業開始ができました。クリーンテック設立からちょうど10年かかったことになります。

私は操業開始した平成13年中は福島と東京を行ったり来たりしながら営業活動を行っていましたが、翌年の平成14年に当初からの計画であった隣接地の第2期処分場の許認可取得事業を進める為に、先程申し上げましたとおり家族で福島へ転居してまいりました。

第1期が操業を始めたことで、父は商工会議所にも入れて頂きました。私は福島にほとんど知り合いがおりませんでしたので、ある方の勧めで青年会議所を紹介され入会させて頂きました。それが御縁で、その後、商工会議所青年部に誘って頂き、今度はこうして由緒ある福島ロータリークラブへ入会させて頂くことができました。

こうした地域のJCや会議所青年部に所属する傍ら、第2期の許認可取得は私と担当部長でずっと進めてまいりました。「第1期を操業しているから第2期も…。」とは簡単には行きませんでした。もちろん県の指導要綱なども厳しくなり、環境影響調査も求められる内容が格段と厳しくなり、環境アセスだけでも2年半以上かかりました。一部の反対する方々も「1期ができたから2期OK。」というわけにはいきませんでした。引き続きそうした方々への説明は継続的に行っていました。

そんなこんなで平成14年3月にスタートした第2期計画ですが、やっと建設許可を頂いて着工できたのが平成22年7月、なんと8年以上もかかってしまいました。そこから建設を開始して、ようやく平成25年7月、一昨年より第2期の操業を開始することができました。結局、第2期処分場完成まで11年以上もかかってしまったことになります。

またクリーンテックに第2期許認可取得の活動をしている傍ら、当初からの目標であった中間処理場を埼玉でM&Aで取得することができました。焼却を中心とする中間処理場で冒頭申し上げました「感染性医療廃棄物」も処理する許可を持つ施設です。医療廃棄物

は直接埋め立てることは出来ませんので、ここで初めて、この業界へ入る当初のきっかけであった病院様の廃棄物を自ら、直接処理することが可能となりました。

第2期の許認可でも大変苦労しましたが、私にとってのこの経験と時間は、今振り返ると、とても良かったと思っています。おかげで地元や県・市行政の方々、そしてJCや商工会議所青年部を通じて地元経済界の方々など実に多くの方々と深くかかわることができました。またこの間、実に多くの方々に飯坂の最終処分場をご見学して頂きました。

参考までにお手元に「見学してみませんか?」というチラシと処分場の航空写真を配布させて頂きました

た。写真やビデオ等がございますが、やはり「百聞は一見に如かず」、最終処分場がどんなものかご見学して頂き理解を深めてもらうのも私たちの仕事だと思っています。ご連絡頂ければいつでも処分場をご案内致しますので、お気軽にお声をおかけ下さい。

今、クリーンテックグループはこの福島最終処分場と埼玉の中間処理場の2本柱で活動しています。しかし、あくまで最終処分場あつての中間処理場ですし、私の拠点はここからも引き続き福島におき、ここから埼玉や東京へ出張して仕事をしていく形でやっていきますので今後とも何卒よろしくお願ひ致します。

本日はご清聴ありがとうございました。

新会員カウンセラー委嘱状の交付

- 坪井 大雄会員 加藤 裕司 会員 (7月16日)
…広栄電設(株)
- 本保 晃 会員 (7月30日)
…日本放送協会福島放送局長
- 日比野恒夫会員 安斎 圭一 会員 (7月23日)
…安斎外科胃腸科医院副院長
- 菅野 晴隆会員 高橋 雅行 会員 (7月30日)
…(株)福島民報社代表取締役
- 菅野 晋会員 山内 功 会員 (7月23日)
…東日本電信電話(株)
- 佐藤 武彦会員 林 隆壽 会員 (8月27日)
…東北電力(株)



幹事報告

例会変更のお知らせ

●福島東RC、18日(金)の例会は18:00より四季の里で夜間例会に変更しております。

その他のお知らせ

●9月理事会議事録を配布しております。ご確認下さい。

私のひとこと

勢島 昇 会員



私の気分転換は音楽鑑賞です。生来の努力嫌いなので、楽器演奏はできない。ジャンルは問わず、時々コンサートに行くが多くは自宅で気軽に。バロックから何でも有りだが気分によって聴くのは違う。年齢と共にジャンルは変化してきている。大学時代からはジャズが多くなった。最近フュージョンが多い。昔はレコードだったが現在はCDが主だ。インターネットのダウンロードはやっていない。アンプはアクフェーズのプリメインの独立型。プレーヤーはエクスクルーシブで、CDプレーヤーはデノン、スピーカーはJBLを使っている。グラスを傾けながら至福の時を過ごし、明日への活力を養っています。

ニコニコBOX報告 (報告)佐藤 武彦 委員

本日のニコニコBOX投入額 21件 ¥41,000 累計 ¥653,000

幡 研一 会長

反後太郎会員のスピーチを楽しみにしております。

箱岩 偉 幹事

皆様の例会出席に感謝して。反後太郎さまのスピーチ楽しみにしています。

丹治 正博 会員

演奏会のご案内です。私が大学時代に所属しておりました慶應大学ワグネル・ソサエティー男性合唱団が12年ぶりに福島公演を行います。9月21日(月)午後2時から福島市音楽堂で本格的な男性合唱団の重厚なハーモニーをご堪能頂きたいと思ひます。

茂田 士郎 会員

9月10日から16日までは自殺予防週間です。自殺を防止するには、早い気づき声掛け。傾聴(訴えを良く聞く)、つなぎ(専門家への橋渡し)が大切だといわれています。「いのちの電

話」相談はこのような基本を重視して、年間365日、自殺を念頭に悩む人々の訴えに対応するボランティアです。

加藤 義朋 会員

地区目標「原点回帰」当クラブ会場監督の活動計画の「好意と友情の握手」を本日よりはじめます。本旨をご理解の上、実践して下さい。

反後 太郎 会員

本日、スピーチで緊張しておりますがよろしくお願ひ致します。

他に／小林仁一会員／後藤洋伸会員／相良元章会員／坪井大雄会員／田沼紀美子会員／松浦敬裕会員／井上賢司会員／八子英器会員／今井理基夫会員／有田吉弘会員／佐藤英典会員／清水義之会員／林 隆壽会員／白岩康夫会員／佐藤武彦会員